

センターからのお知らせ

世界エイズデー in Yokohama 2023 報告

横浜 AIDS 市民活動センターは、11月25日(土)から12月20日(水)まで「世界エイズデー in Yokohama 2023」を開催しました。オープニングはドキュメンタリー映画「カミングアウトジャーニー」の上映会と主演・企画である福正大輔さんを迎えての座談会でした。「福正さんから元気や勇気をもらった」「カミングアウトが次のステージに向かわせる行動という考え方を知った」という感想がありました。

また、当センター内で開催した「極私的梅毒展4」は、性感染症・梅毒の情報を30センチ4方の箱に詰めたアートを常設展示、アートとしてのすばらしさはもちろん、安心して展示を鑑賞することができたとの声をもらいました。U=UやPrepに関する情報提供もできました。今回初めて参加した「東京エイズウィークス」では、他団体とHIVエイズの情報共有ができました。



HIV・エイズ、性感染症の正しい知識・最新情報をわかりやすく解説!



発行:横浜 AIDS 市民活動センター
 公益財団法人横浜YMCAが横浜市から事業を受託しています。
 〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番地
 尾上町ビル9F / TEL:045-650-5421 FAX:045-650-5422 / E-mail:info@yaaic.gr.jp
 平日:月・木・土曜日 11:00~17:00
 水・金曜日 14:00~20:00 休館:日/火
 監修:横浜市区療局健康安全課

特集 性の健康(セクシュアルヘルス)ってなんだろう

性・エイズに関する学習会 2024



「こんな性教育がいい!」と誰もが言える、そんなモデルとなるような性教育の理論と実践を学ぶ無料学習会を3月9日(土)に行います。今すぐにも子ども・若者たちに届けたい内容と、自分ひとりだけでなく共に考え学ぶ仲間作りにもなることを、目指しています。包括的性教育と出前授業で行う具体的な内容や教材についても、皆さんと共有していきます。ぜひ、ご参加ください。

日程	講座内容	講師紹介
3月9日(土)	第1部 13:00 ~ 14:30 「包括的性教育ってなんだろう?」	渡辺大輔さん 埼玉大学基盤教育研究センター准教授 著書:『マンガワークシートで学ぶ多様な性と生』(子どもの未来社)『実践 包括的性教育』(エイデル研究所) 共訳書:『国際セクシュアリティ教育ガイドンス【改訂版】』(明石書店)
	第2部 15:00 ~ 16:30 「性・からだ・いのちの学びをどう伝える?」 ~出前授業で中学生に行っている実践を紹介します~	中野久恵さん 認定NPO法人AIDSネットワーク横浜運営委員 元公立小学校養護教諭 著書:『あっ!そうなんだ!わたしのからだ 幼児に語る性と生』(エイデル研究所)・『あっ!そうなんだ!性と生 幼児・小学生そして大人へ』(エイデル研究所)

参加対象:性教育に関心のある方、性教育を行おうと考えている方、すでに性教育を行っている方、子どもや若者の支援者、テーマに関心のある方 定員各40名
 会場:横浜中央YMCA(横浜市中区常盤町1-7)
 アクセス:JR 関内駅南口、市営地下鉄関内駅 徒歩3分・みなとみらい線日本大通駅 徒歩5分
 申し込み:当センターHPの「センターからのお知らせ」にて受付中。(※定員になり次第締切)
 URL <https://yaaic.gr.jp/category/yaaic/centerinfo>

主催・お問合せ: 横浜 AIDS 市民活動センター

TEL 045-650-5421 メール info@yaaic.gr.jp

申込はこちら→



『ピンクシャツデー2024 in 神奈川』について

2022年度の小・中・高等学校等におけるいじめの認知件数が、前年度比10.8%増の68万1,948件と過去最多になったと、文部科学省が発表しました。いじめの状況別では小・中学校及び特別支援学校・高等学校で「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が最も多く、「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする」が続きます。「パソコン・携帯電話等で、誹謗・中傷や嫌なことをされる」は引き続き増加傾向にあります。



いじめを受けていい人は誰もいません。

2月の最終水曜日は「いじめ反対」の意志を表示し、いじめのない社会作りを呼びかけるピンクシャツデーです。

ピンクシャツデー in 神奈川-あなたも「いじめ反対!」の意思表示を! 公式サイトはこちら→<https://pink-shirt-day-kanagawa.com/>

横浜 AIDS 市民活動センター X 始めました!

横浜 AIDS 市民活動センターは2023年11月17日から、Xの配信を始めました。HIVやエイズ、性感染症、性教育に関するイベント情報、センターの最新情報をお知らせします。センターのマスコット・コムちゃんと一緒にレッドリボンや差別、偏見について考えていきましょう。@YAAIC_

特集 性の健康(セクシュアルヘルス)ってなんだろう



センターマスコット コムちゃん

性の健康(セクシュアルヘルス)という言葉を知っていますか?
みんなの健康を守り、みんなの権利を守るためにコムちゃんと一緒に学んでいきましょう!

【性の健康(セクシュアルヘルス)の誕生】

2002年に世界保健機関(WHO)が策定した「性の健康と性の権利に関する仮定義」を受け、性の健康世界学会(World Association for Sexual Health:WAS)は2005年にモントリオールで開催された第17回世界性科学学会会議で、「性の健康と性の権利宣言」を再確認しました。

(参考:2006年3月 日本性科学連合翻訳)



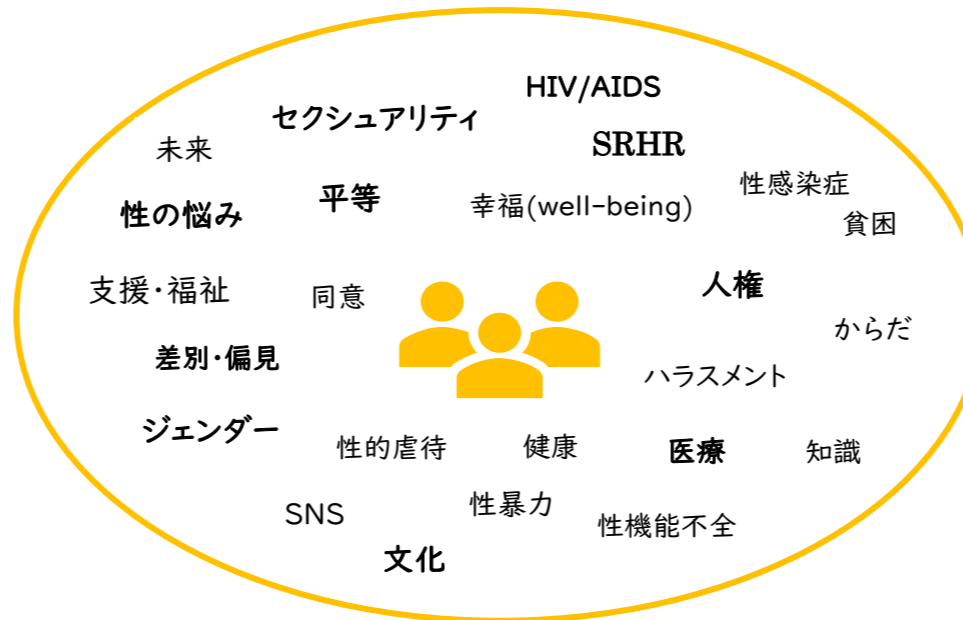
【性の健康と性の権利宣言文にある8つのモントリオール宣言】

世界中のセクソロジスト(性医学・生物学・心理学・性教育等に関する研究や調査に基づく、人間の性に関する科学的知識の専門家)やアクティビスト達は以下を性の健康の理念と受け止め、行動しています。

- ① すべての人々の「性の権利」を認識し、促進し、保証し、保護する。
- ② ジェンダーの平等を促進させる。
- ③ あらゆる形態の性暴力および性的虐待を排除する。
- ④ セクシュアリティに関する包括的な情報や教育を広く提供する
- ⑤ 生殖に関する健康(リプロダクティブ・ヘルス)のプログラムの中心的課題は「性の健康」とあるという認識を確立する。
- ⑥ HIV/AIDSや他の性感染症(STI)のまん延を阻止し、状況を改善する。
- ⑦ 性に関する悩み、性機能不全、性障害の存在を認識し、それらに取り組み、治療する。
- ⑧ 性の喜びは幸福(well-being)の一要素であるという認識を確立する。

2006年3月 日本性科学連合翻訳 より抜粋

性の健康と聞いてどんな言葉を思いつくかな?



「性の健康」というとからだの病気がない状態と考えがちですが、身体面に加えて、感情面、精神面、社会面にも良い状態であることを意味します。

HIV/AIDSや性感染症の予防だけではなく、広くいろいろなテーマを相互に関連づけることが大切です。

「性の健康」を達成し維持するには、すべての人の「性の権利」が尊重され、保護され、実現されなければなりません。思春期から高齢期に至るまで生涯を通して、包括的セクシュアリティ教育と「性の健康」に関する正しい情報とサービスにアクセスできる状況を確保することが重要です。

国際疾病分類(ICD・WHOが作成する病気の分類)の最新版で、初めて「性の健康」の章が設けられ、各国は2022年2月からこの章の使用を開始しました。

性の多様性、ジェンダー等に対するスティグマの回避、当事者が医療サービスを公平に受診できること、などが含まれています。

(国際疾病分類は医療機関での診療や死亡の時、国の統計調査で使われます)

【性の健康を学ぶときに役立つ書籍・ウェブサイト】

- ・国際セクシュアリティ教育ガイダンス【改訂版】
(明石書店)
- ・Tokyo Sexual Health
→ <https://www.tsh.ncgm.go.jp/>



パネル展「トランスジェンダーのリアル2」

当事者と出会ったことがない、当事者がどのような生活を送っているのかわからないといったことから偏見を持つことがないように、当事者のリアルを伝えることで性的少数者への理解を深める意図をもった展示です。トランスジェンダーに関する書籍や資料の展示もします。昨年度に続き2回目の開催です。

日時:2024年2月17日(土)~3月9日(土)

月・木・土 11:00~17:00 水・金 14:00~20:00 火・日曜休館

会場:横浜 AIDS 市民活動センター 入館無料



子どもの権利条約

「子どもの権利条約」は1989年国連総会で採択されてから35年、2024年は日本が同条約を批准してから30周年の年となります。

子どもの権利条約は全部で54条あり、基本的な考え方は、『差別の禁止』『子どもの最善の利益』『生命、生存及び発達に対する権利』『子どもの意見の尊重』の4つで表されます。

国は子どもの権利を子どもたちに知らせ、保障する義務があります。

※子どもも大人も学べる!「こどものケンリ」ウェブサイトは

国際NGOセーブ・ザ・チルドレンが制作し、イラストや動画を交え、

優しい表現でわかりやすく子どもの権利を解説しています。詳しくはこちらをご覧ください。↓

<https://www.savechildren.or.jp/oyakonmikata/kodomo-no-kenri/learning-kit/>

